

第2回大阪体育大学中長距離競技会

開催日:平成26年5月17日(土)

場所:浪商学園陸上競技場

種目	名前	学年	記録	着順	備考
3000m障害	水元 みのり	1年	11分34秒03	9 (15名中)	自己新記録(11分42秒10を更新)
1500m	港 菜月	2年	4分43秒55	6 (10名中)	
	竹山 楓菜	1年	4分52秒69	8 (10名中)	
5000m	渡部 貴江	1年	17分42秒08	3 (14名中)	

【山本コメント】

1週間前の関西インカレに引き続き、記録会に出場した。1日を通して風が弱く、日差しも日中は強かったものの日が傾くにつれて気温も下がり、好条件下でのレースとなった。多くの大学生、高校生、中学生が出場した。

3000m障害には、3回目の挑戦となる水元が出場した。3回目にして大障害と水濠に対する恐怖感もかなり克服できてきたようで、先週の関西インカレに引き続き自己記録を更新した。1000mを過ぎて一度ペースが落ちかけたが、中盤から後半にかけて立て直し、元気よくゴールを駆け抜けた。ハードル技術はまだ未熟なので、レースを重ねる中で跳ぶ技術を磨いてほしい。また、走力自体をさらに上げて、本競技での更なる記録更新と、駅伝での好走につなげて行ってほしい。6月の日本学生個人選手権の標準タイムをクリアした。

1500mには、港と竹山が出場した。前半から二人とも果敢な走りで記録に挑戦したが、後半にややペースを落としゴールした。港は、ペースダウンしたものの、先週のタイムを約1秒上回った。竹山は、自身にとってかなりのオーバーペースになったが、自己記録に約2秒半遅れる程度でまとめた。二人とも、今日の果敢なレース経験を活かし、次回以降の記録での更新を目指してほしい。

5000mには、渡部が出場した。1000m以降に先頭集団を引っ張ったが、体調があまり良くなかったようでペースが上がらず、3000m以降は順位を二つ落として、3着でのゴールとなった。走力は着実についてきているので、次回は良い体調でレースに臨めるように準備し、良い成果を出してほしい。

今回のレースに出ていない者も含めて、次のトラックレースまで少し期間が空く。今一度しっかり準備を整えて心身の状態を高め、上半期後半のトラックレースに備えたい。その勢いを駅伝シーズンにつなげたい。